



No.45

平成 27 年 4 月 30 日発行

南あわじ市

議会だより

4月6日 新議場が誕生



この日、
この時、
この場から

未来への躍進



▲傍聴席に車イス使用者席が設けられた

主な内容

第 60 回臨時会の結果	2 ~ 4
第 61 回定例会の結果	5 ~ 12
一般質問	13 ~ 20
委員会調査レポート	22 ~ 23

第60回南あわじ市議会臨時会が1月26日～2月5日の会期で開かれ、市長より提出された議案74件について審議が行われました。議案の内容や主な質疑、採決の結果をお知らせします。

臨時会の日程

- 1月26日 本会議1日目(議案上程ほか)
1月27日 総務建設常任委員会(議案審査)
1月28日 産業厚生常任委員会(議案審査)
2月3日 // (議案審査)
2月5日 本会議2日目(採決ほか)



▲三原公民館は改修され、4月より中央公民館となった。



▲平成27年3月末で指定管理期間が終了する各集会所や研修指導施設、老人福祉センターなどが、譲与もしくは新たに指定管理された。(写真はコミュニティセンター潮美台会館)

26年度一般会計補正予算(第6号)

5施設の指定管理の継続に伴い、平成27年度～36年度債務負担行為に指定管理料5183万円を限度額として

追加するもの。

センターの物件費。灘いきがい創造センターは地元の団体が必要なきときに開け閉めをしており、光熱水費が大半。

行政組織条例の一部改正

地域総合戦略を実施する行政組織とするための改正。

や地域総合戦略などを企画していく部署は。

民部が共に連携を図りながら事業を展開していく。

地方人口ビジョン

企画部ふるさと創生課定住対策係が担当。市民協働によるまちづくりは企画部と市

賛成多数で原案可決

三原公民館改修工事 請負変更契約の締結

工事費用882万7920円の追加に伴う工事請負業者との変更契約。

防水対策の追加は、設計段階で調査されていたのか。調査済だったが、外からは見えない壁の

中などの雨漏りがひどかった。トイレをウォッシュレットに変更した理由は。高齢者などから要望があった。

賛成多数で原案可決

財産の譲与

地域集会所施設などのうち、地元自治会などと譲与の協議が整った施設の譲与について議会の議決を求める。

地域集会所施設 33施設

自治会にとって譲与されることのメリットは。

あくまでも地域の集会所という認識のもと、譲与した場合も指定管理をした場合も、改修時、同じ補助制度で対応したい。

建替え時の市の補助は。

上限1千万円で対象事業費の2分の1が補助対象。

譲与後10年間は売買できないが、それ以後はどうか。

10年以降は地域の判断に任せる。

賛成多数で原案可決

コミュニティ消防センター8施設

主な質疑

各消防団の機具庫の用途を変更して譲与するのか。

用途は、今までと変わらない。

委員間討議

高齢化が進み団員の確保も懸念される。常備消防団の整備を強化し、地元負担も出来るだけ無くしていくようにすべき。

議決結果

賛成多数で原案可決

公の施設の指定管理者の指定

神道公会堂 指定管理者

解放同盟倭文支部(期間||平成27年4月~平成37年3月末)

主な質疑

本来は、地元自治会と協定するべきではないか。

施設は地元住民が使用する際、団体から借りている認識が強い。団体などと協議を重ね、早急に本来の姿にしたい。

討論

吉田良子議員

討論要旨

地域のコミュニティセンターなどを新たに今後10年間、譲与する施設と指定管理者として選定する施設に議案が分かれていたが、神道公会堂を除く施設は

野原集会所 指定管理者

八木野原自治会(期間||平成27年4月~平成37年3月末)

主な質疑

他の集会所と同様に修繕は指定管理者が行うべきではないか。

これまでの経緯などもあり、話し合いの結果、市と指定管理者が協議して修繕額を決定することになった。

討論

蛭子智彦議員

討論要旨

野原集会所だけ修繕費を公費でまかなうという特別扱い、か

産業文化センター 指定管理者

淡路瓦工業組合(期間||平成27年4月~平成37年3月末)

主な質疑

産業文化センター内に津井地区公民館や淡路瓦工業組合津井支部の事務所が入っており、光熱水費などの負担割合が不明確では。

建設時、当時の津

議決結果

賛成多数で原案可決



▲産業文化センター



▲4日間行われた予算審査特別委員会

第61回南あわじ市議会定例会が2月23日～3月20日の会期で開かれ、市長より27年度予算を含む議案61件、人事案件2件の提出があり、また議会からは議案2件を提出し審議しました。主な議案の内容と質疑及び採決の結果をお知らせします。

- 27年度予算を可決
- プレミアム付商品券の発行などの26年度補正予算を可決

人事案件

(順不同、敬称略)

■教育長の任命

同意 岡田 昌史 (松帆)

任期

(平成27年4月1日～30年3月31日)

■損害評価会委員の委嘱

同意

桑川貴文、横 博文、正木道孝、三宅利則、村上禎夫、米田信次、土居健二、細川 直、亀岡 博、秦 計幸、北条憲造、細川 満、中島 始、岸本敏彦、中野隆之、中永好宏、榎本芳史、居神為雄、辻 隆弘、矢内利明、山口恭弘、金一輝彦、原田 守

任期

(平成27年4月1日～30年3月31日)

3月定例会の日程

- 2月23日 本会議1日目 (施政方針表明ほか)
- 2月25日 " 2日目 (議案上程ほか)
- 3月2日 " 3日目 (一般質問 (代表質問))
- " 3日 " 4日目 (一般質問 (代表・個人質問))
- " 5日 " 5日目 (一般質問 (個人質問))
- " 6日 " 6日目 (一般質問、追加議案上程)
- " 9日 予算審査特別委員会 (議案審査)
- " 11日 "
- " 12日 "
- " 13日 "
- " 16日 総務建設常任委員会 (議案審査)
- " 17日 産業厚生常任委員会 (議案審査)
- " 20日 本会議7日目 (採決ほか)

議決結果一覧

議長 (廣内孝次) は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意志)	各議員の賛否																
			中村三千雄	川上命	阿部計一	登里伸一	北村利夫	砂田昊洋	柏木剛	森上祐治	印部久信	長船吉博	吉田良子	木場徹	小島一博	谷口博文	原口育大	熊田智彦	蛭子智彦
市長	26年度一般会計補正予算 (第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	行政組織条例の一部を改正する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	地域集会施設条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	コミュニティ消防センター条例の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	老人福祉センター条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	財産の譲与 (山添水田利用再編対策研修指導施設、山添コミュニティセンター、土井集落センター、青少年研修センター、モデルコミュニティセンター掃守会館、松田集会所、成相ふれあいセンター、寺内コミュニティセンター、入田集会所、中八木コミュニティセンター、八木文化創造館、市コミュニティセンター、富田集会所、コミュニティセンター田中会館、北阿万モデルコミュニティセンター伊賀野会館、コミュニティセンター潮崎会館、ユニティーやまもと会館、コミュニティセンター吉野会館、コミュニティセンター白崎会館、来川コミュニティセンター、農村婦人の家、宝明寺集会施設、湊研修指導施設、神稲研修指導施設、国衙研修指導施設、倭文研修指導施設、中山集落センター、小椋列集落センター、徳長集落センター、松本構造改善センター、難波構造改善センター、淡路人形ふるさと館、子供人形浄瑠璃館) (33件)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	財産の譲与 (津井消防センター、神代コミュニティ消防センター、八木天野コミュニティ消防センター、八木突原コミュニティ消防センター、市コミュニティ消防センター、福良コミュニティ消防センター、灘コミュニティ消防センター、沼島コミュニティ消防センター) (8件)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	財産の譲与 (山所老人福祉センター、志知老人福祉センター、十一ヶ所老人福祉センター) (3件)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (新コミュニティセンター、コミュニティセンター潮美台会館、弘川集落センター、かるも集会所、沼島集会所、伊加利コミュニティセンター、中筋地区農村集落多目的共同利用施設、安住寺集落センター、志知研修指導施設) (9件)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (神道公会堂)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (野原集会所)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (福井北集会所)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (高原集会所)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (湊防災センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (老人福祉センター 亀岡荘、老人福祉センター あづま荘、老人福祉センター 仁尾荘、老人福祉センター ゆづるは荘、老人福祉センター 稲田荘、老人憩の家 ふくら荘、老人憩の家 賀集荘) (7件)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (灘いきがい創造センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (産業文化センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定 (地域栽培養殖中間センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	三原公民館改修工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成27年度予算を審査

27年度一般会計・特別会計等予算(15件)

27年度一般会計・特別会計予算は「予算審査特別委員会」を設置して4日間にわたって審査した。

ふるさと南あわじ 応援寄附金

運営を迫られることから、自主財源の確保と負担の公平なお一層取り組みたい。

国・県からの補助金

サイクリングターミナルやサンライズ淡路などにおいて、施設使用料と施設の維持に要する経費を明確にするため基金として積み立てられたい。

指定管理における施設使用料

市が数多くの事業を行うためには、国・県からの補助金や委託金が必要であり、いろいろ取り組める事業が無いか精査されたい。

歳出

大学連携推進事業 1948万円

吉備国際大学では鳥獣害対策への取組などを行っているが、更に大学の力を借りて産地課題解決への取組などを行うため、また大学の知名度を高めるためにも、新たな施策・支援に取り組みたい。

タル防災行政無線の整備などによって、南海トラフ巨大地震や風水害などの災害時に、市民への情報伝達力の向上が図られるとのことであるが、従前より危険とされている場所への防災カメラ増設を検討されたい。

一般会計予算 歳入

審査過程で委員から出された主な意見などは次のとおり。

使用料及び手数料収入

地方交付税が平成27年度より段階的に縮小され、より厳しい財政

平成27年度南あわじ市予算
一般会計 258億8,000万円 (前年比+3.6%)
特別会計 208億1480万5千円 (前年比+8.6%)
内訳として
・国民健康保険特別会計 78億3446万1千円
・後期高齢者医療特別会計 12億6518万1千円
・介護保険特別会計 47億604万1千円
・下水道事業会計 55億5152万8千円
・他10特別会計 14億5759万4千円
合計 466億9480万5千円 (前年比+5.8%)

デジタル防災行政無線整備事業 1億1349万円

気象観測設備や防災カメラの新増設、より災害に強いデジ



▲吉備国際大学で開催された「産・官・学・民・金」マッチングカンファレンス

コミュニティバスの運行 1億1438万円

新庁舎完成に伴う路線やダイヤの変更については、市民へのPRを積極的に行い、多くの方に利用されるよう取り組みたい。

マイナンバー対応システム改修事業 7081万円

個人情報情報の漏えいなどを起こさないシステムの構築と職員研修に取り組みたい。

防犯灯の維持管理経費 323万円

自治会管理している防犯灯に対しての補助金は、電気代の3分の1程度の補助率でしかない上に、球切れなどの交換も自治会で対応しており、維持管理費



▲防災行政無線により、住民へ各種の通報が迅速・正確にできる

の負担が大きくなっていく。また、合併前の各町での管理方式を新市で引き継いでいるため、自治会管理と市管理の割合が旧町地域によって差異があるの

で、自治会管理の負担軽減と旧町地域間格差の是正に取り組みたい。

在宅子育て応援事業補助金 60万円

在宅で子育てしている保護者に対して、3歳以上の保育料無料

化による保護者の負担軽減と同程度の支援とすることができないか検討されたい。

臨時福祉給付金 8510万円

該当者へのわかりやすい案内文書の送付やPRを行われたい。

また、分庁舎が無くなり庁舎が一本化されることへの対応も検討し、該当者全員が支給を受けられるように取り組みたい。

特別会計予算

ケーブルテレビ事業

聴覚障害者に配慮した手話通訳や字幕放送が入った番組の制作・放送の拡大に取り組みたい。より充実した番組制作や運営を行うため、視聴率の調査や有料広告の確保も検討されたい。

国民宿舎事業

花みどりフェアの開催期間中は利用客の増加も見込まれるが、年間を通して集客するための慶野松原の景観を生かした公共の宿としての新たなイベントの企画を検討し、平日の集客を高めるための積極的な営業活動に取り組みたい。

議員より修正案

一般会計の幼稚園費541万8千円を増額する、(予備費を減額)修正案が、吉田良子議員他2名より提出された。

修正理由

保育所、幼稚園などに通う3・4・5歳児の保育料を無料にする提案であるが、市内にあるさゆり幼稚園については、無料でなく一部助成であること。これまで園が果たしてきた幼児教育などの役割から無料の対象にするべき。

討論要旨

保育料無料化は、市内幼稚園児、保育園児について官民の格差をつけるべきでなく、すべての園児に無料化の恩恵が行き届くようにするべき。さゆり幼稚園は保育所が不足していた時代から運営されており無料化が必要。

議決結果

一般会計の修正案は否決。原案は賛成多数で可決。特別会計14件は賛成多数で原案可決。

討論

一般会計予算 賛成

市民交流センターを核とした、全く新しい行政サービスに挑戦する最初の年であり、財

平成26年度補正予算を審査

一般会計
補正予算

■議案内容
一般会計に歳入・歳出それぞれに2億284万1千円を追加し、総額280億9120万5千円とする。

■主な質疑

歳入

■歳入
コミバス運賃収入150万円の減額

■減額の要因は。

■答
利用者は昨年より増えており、年間バスポートの利用者が増えたことによるもの。

■若人の広場整備事業 県補助金1億1513万9千円

■市の実質負担額

は。全体事業費12億3985万円に対し約6・6%にあたる8191万7千円。

歳出

■歳出
大学入学奨励金667万5千円の減額

■要因は。

■答
入学者50名のうち39名が申請、11名が辞退したので、その差額を減額するもの。

■辞退の理由は。

■答
4名が市外からの通学者、残り7名は個人的な理由で申請しなかった。

■プレミアム付商品券の発行事業6億2千万円



▲平成25年に販売されたプレミアム付商品券

■目的と販売時期

■答
市内の商工業の景気対策として、消費を促し経済を活性化することを目的とする。要項が決まり次第、広報などで周知する。

■南あわじを売り出そう地域が元気になる事業4500万円

■事業内容は。

■答
情報発信基地のWEBサイトのデザイン



▲美菜恋来屋に併設された情報発信基地

や、コンテンツの企画作成、PRビデオの作成など。

■地方人口ビジョン等策定支援業務委託料1100万円

■内容は。

■答
市における人口構造などの調査・分析を行い、地方版地域総合戦略を策定するもの。

■今後どのように展開していくのか。

■答
頑張る自治体に対して

し国からの交付金があると思われ、定住対策など、人口増に繋がる戦略に取り組みたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

国民健康保険
特別会計

■議案内容

■歳入・歳出それぞれ4357万5千円を追加する。

■主な質疑

■答
特定健康診査委託料204万円の減額理由は。

■答
健康診査受診者数が当初見込みの5000人から実際は4621人であった。

■未受診者への対策

■答
25年度に検診を申し込まれていない方にリーフレットや電話での啓発、戸別訪問など

を行った。賛成多数で原案可決

介護保険
特別会計

■議案内容

■歳入・歳出それぞれ8823万7千円を減額する。

■主な質疑

■答
八木病院の療養型の施設が、26年度に無くなったために施設介護サービス給付費1億4062万4千円が減額されているが、入所者への対応は。

■答
療養型施設は20床あったが、そのうち3名程度が特別養護老人ホームに入所し、残りの方は医療が必要なため、入院した。

■議決結果

賛成多数で原案可決

産業廃棄物
最終処分事業
特別会計

■議案内容

■歳入・歳出それぞれ1150万円を減額する。

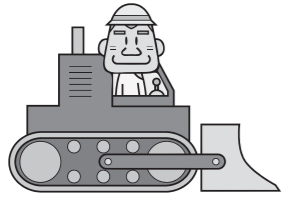
■主な質疑

■答
産業廃棄物処理手数料1150万円の減額理由は。

■答
民間の処分場施設への持ち込み増や、公共事業の減少により土砂の搬入が大きく減ったため。

■議決結果

賛成多数で原案可決



ふるさと納税に少子対策などを追加
ふるさと南あわじ応援寄附金条例の一部改正

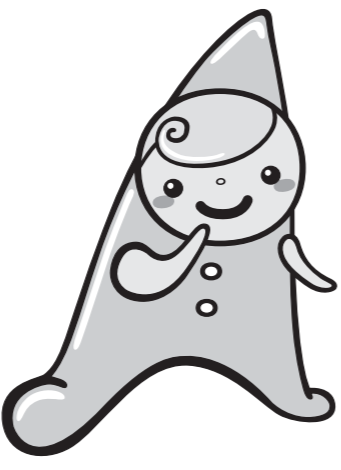
■議案内容

■ふるさと納税制度について少子対策・子育て支援に係る事業を寄附目的に加える改正。

■主な質疑

■答
今回改正する少子対策と子育て支援を目的とする事業に対して

寄附を頂ければ、別途設置を予定している子供とすする事業に対して



▲南あわじ市子育て応援シンボルキャラクター「ゆめりん」

ども未来基金に積み立て、目的に沿った事業に充てる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

職員給与を引き下げ
職員の給与に関する条例の一部改正

■議案概要

■地域手当の支給割合を0%としている特例期間を平成28年度末まで延長。人事院勧告に準拠し、一般職の給料と諸手当の見直しなどを行う。

■主な質疑

■答
平均で2%の減

■大企業の賃金を参考にしているが今回は、民間給与の低い12県の調査を基礎とし、50歳台後半層の水準の見直しを行い、最高では4%の減額になる。

■討論

■反対 蛭子智彦議員

公務員は常に攻撃され、職場でのモチベーションが下がっている。

■中高年層、管理職世代の引き下げが強められ、労働強化、心身の不健康状態が慢性的だ。人材確保にも支障、給与の引き下げは国策とも矛盾し反対。

■議決結果

賛成多数で原案可決

介護予防などを国から市に移管
介護保険条例の一部改正

■議案内容

①3年に1度の第1号被保険者の介護保険料率を改定する。
②介護保険制度改正により、介護予防などを市で平成29年4月より開始する。

■主な質疑

■答
国は要介護1、2を介護給付から外す提案をしている。将来的に特養へは、現在の要介護1、2から要介護3以上でない入所できなくなるのでは。

■答
国の制度改正であり、持続可能な制度設計も考えなければいけない。市長会などで国の負担割合を上げる要望があれば賛成したい。

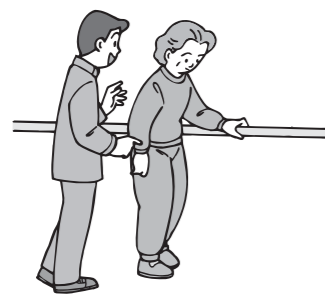
■討論

■反対 吉田良子議員

消費増税、年金引下げ、物価の高騰など高齢者のなかで、せめて介護保険料は上げないで欲しいという切実な声に市として独自に軽減策を行うべきである。また特別養護老人ホームの待機者の解消などの対策が不十分である

■議決結果

賛成多数で原案可決



地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例制定

■議案内容

国の法改正により、「地域包括支援センター」の職員等に係る基準が厚生労働省令から市の権限に移ったため、条例に定める。

■主な質疑

問 4月以降、地域包括支援センターをこれまでの2拠点から新庁舎までの2拠点から新庁舎に集約する理由は、

答 ワンストップサービスで提供が可能になる。相談は市内5か所の在宅介護支援センターなどでも受け付けており、今後も市の広報などで周知に努めたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲新庁舎1階に設置された地域包括支援センター

いじめ問題に関する委員会などを設置

いじめ問題対策連絡協議会等条例制定

■議案内容

いじめ防止対策を総合的かつ効果的に推進するために、「いじめ問題対策連絡協議会」など3組織を設置するに当たり必要な事項を定める。

■主な質疑

問 新しく設置される各組織の役割は。

答 「いじめ問題対策連絡協議会」では、各関係機関が集まり、連携を図る。また、重大事態が発生した場合、学校などが調査に当たることが、十分な結果が得られない場合、「いじめ問題対応委員会」で調査を行う。市長が再調査を必要とした場合、「いじめ問題調査委員会」に諮問し、再調査を行う。委員は専門的知識や経験を有する第3者で構成される。

■議決結果

賛成多数で原案可決



農業共済条例の一部改正

■議案内容

国の規則の一部改正により、園芸施設共済の補償などの規定が変更したため一部改正する。

■主な質疑

問 改正点は。

答 園芸施設共済は耐用年数が5年から10年に延長となり、10年までは農家の選択により農家の負担で掛け金を上乗せすれば、新築価格の100%まで補償してくれる。撤去費用は農家の選択により補償対象となった。

■議決結果

賛成多数で原案可決

議案の取り下げ

- ▼ 出産祝金支給条例の廃止
▼ 入学祝金支給条例の廃止

■取り下げする理由

子ども・子育て支援新制度の開始を契機として、一時金支給から継続的な子育て支援制度に移行を図るため、平成28年4月からの条例廃止を提案したが、条例施行予定日まで時間があり、精査検討したいため。

■議決結果

賛成多数で議案撤回を承認

常任委員会を再編

議会委員会条例の一部改正

■議案内容

行政組織条例の改正に伴い、総務建設・産業厚生常任委員会の所管や、委員会の名称を一部変更する。

■議決結果

賛成多数で原案可決

新しい常任委員会の所管事務

(平成27年4月～)

総務常任委員会

危機管理部、企画部、総務部、市民部、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項と他の常任委員会の所管に属さない事項

産業厚生常任委員会

福祉部、農商部、建設部、教育委員会、農業委員会の所管に関する事項

※委員会の委員構成は変わりません。

政務活動費の交付に関する条例の一部改正

■議案内容

会派室に設置しているパソコンのインターネット接続料を会派負担から公費負担に変更したため、政務活動費を充てることができる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

議会活動日誌

1月～3月の議会活動状況について次のとおり報告します。

1月

- 4日 消防団初出式(正副議長、総建委員)
5日 仕事始め式(正副議長、議運委員長、各常任委員長)
7日 淡路精神保健福祉大会(議長)
8日 議会広報広聴常任委員会友路会新年語り初め会議(議長)
11日 成人式(正副議長、産厚委員)
17日 ひよっこ安全の日のつどい1・17のつどい阪神・淡路大震災20年追悼式典(議長)
19日 議会運営委員会
20日 議会広報広聴常任委員会総務建設常任委員会
21日 淡路瓦工業組合講演会並びに新年互礼会(議長、産厚委員長)
22日 遺族会新年研修会(産厚委員長)
23日 東播・淡路市議会議長会定例会(正副議長)
26日 議会臨時会(1日目)
27日 総務建設常任委員会
28日 術科始め式(副議長、産業厚生常任委員会)
29～30日 全国市議会議長会

2月

- 1日 B&G会長杯全淡柔道大会(議長)
3日 産業厚生常任委員会
4日 全国離島振興市町村議会議長会総会及び研修会(議長)
5日 議会臨時会(2日目)
6日 洲本市・南あわじ市衛生事務組合議会定例会
9～10日 議会広報広聴常任委員会視察研修
10日 淡路広域団体議会議員協議会(正副議長)
12日 淡路地域正副議長会(正副議長)
13日 兵庫県市議会議長会総会(正副議長)
14日 全国市議会議長会社会文教委員会正副委員長打合せ及び社会文教委員会意見交換会(議長)
15日 ことも伝統芸能発表会(全議員)
16日 ランニングフェスティバル(議長)
18日 三原ミニバスケットボール教室交歓大会(副議長)
19日 議会運営委員会
20日 兵庫県市議会議員公務災害補償組合議会定例会(議長)

3月

- 1日 新庁舎建設工事及び外構工事修築式及び竣工式(全議員)
2日 少年野球春季大会(議長)
3日 議会定例会(3日目)
4日 高機能消防指令センター運用開始式(正副議長、総建委員長)
5日 議会定例会(5日目)
6日 議会定例会(6日目)
7日 スポーツ賞表彰式(議長、産厚委員長)
9日 予算審査特別委員会
11日 予算審査特別委員会
12日 予算審査特別委員会
13日 予算審査特別委員会
14日 予備審査特別委員会
15日 予備審査特別委員会
16日 予備審査特別委員会
17日 予備審査特別委員会
18日 予備審査特別委員会
19日 予備審査特別委員会
20日 予備審査特別委員会
21日 予備審査特別委員会
22日 予備審査特別委員会
23日 予備審査特別委員会
24日 予備審査特別委員会
25日 予備審査特別委員会
26日 予備審査特別委員会
27日 予備審査特別委員会
28日 予備審査特別委員会
29日 予備審査特別委員会
30日 予備審査特別委員会



一般質問

市政を問う

平成27年度の施政方針・予算案に対する総括質疑と市の一般事務に関する一般質問が行われました。

3月2日、3日、5日、6日の4日間にわたって、15人の議員が市政を問いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法

市ホームページ → 南あわじ市議会ホームページ → 録画放送

議決結果一覧

議長（廣内孝次）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対、-は欠席）

Table with columns for proposer (提出者), proposal name (議案名), decision result (議決結果), and council members' votes (各議員の賛否). Rows include various budget items and administrative regulations.

会派代表質問

ゆるるはクラブ 中村 三千雄 議員

新市発足10年の施策の成果と検証

市民の考え方が共有できているかについて、どのような受け止め方をしているのか。

市長公室付部長 住

財政健全化計画と今後の財政の見通しは。 財務部長 19年度策定、23年度計画され、31年度までとなつて

23年度以降、財政調整基金を取り崩さず数値的に、実質公債比率は26年度14.3%、27年度は13%後半と改善してきている。

矢谷副市長、農水省幹部として当市にこられた思いは。 矢谷副市長 国が行っている施策をフルに活用し、住んでおられる全ての皆さん



▲市の木 黒松

が地域をよくしようという気持ち・考えを持つ雰囲気づくりの機運の醸成をしていくことではないかと考えている。 10年を振り返って、執行部としての自己評価と施策の達成度をどの様に総括しているのか。

川野副市長 中田市長就任以来、少子化対策に力を入れ、成果が出てきており、目標を持って果敢に挑戦し事業を展開していかなければと思っています。



▲市の花 日本水仙

会派代表質問

市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

施政方針について

問 分庁舎廃止で市民は、戸惑い・不便を感じないか。

市長公室付部長 新

庁舎と連携しながら、きめ細やかな行政サービスを実施したい。

市民生活部長 新

舎で、365日各種届出などの受付、迅速に対応する。

問 高齢者などが安心して暮らせる「まち」の様なイメージか。

健康福祉部長 介護

保険と医療の連携、2025年団塊の世

代が後期高齢者に至るまでに地域包括ケアシステムの構築が言われている。

問 南海トラフ巨大地震、津波の恐怖が日々高まっている。どの様な認識で市民の安心・安全を担保するのか。

総務部長 防災意識

の向上を図り、防災出前講座、ハザードマップ、広報、ホームページ、ケープブルテレビなどを活用し啓発に取り組む。

問 3歳以上の保育料無料化は市内全ての3歳以上が対象か。

健康福祉部長 公・

私立を問わない。保育所の保育料は3・4・5歳無料、私立



幼稚園は取り扱いが一部異なる。

問 取り扱いが異なるのは何処か。

健康福祉部長 さゆ

り幼稚園である。問 第1子から無料のアクセルを踏んで出産・入学祝金を廃止する条例でプレキを踏む、子育て支援の名が泣きますよ。

市長公室長 無料を

決めるときに出産祝金を大幅に増額か、検討の結果、3歳以上にした。

会派代表質問

政真クラブ 柏木 剛 議員

保育料無料化について

問 全国に先駆け打ち出した思い切った施策、大きな財源を必要とするが。

健康福祉部長 少子

対策の効果は簡単に現れない、急がないといけない。選択と集中、他の施策を縮小、廃止しても取り組む、南あわじ市の未来に対する投資であるとの決断であった。

財務部長 これまで

長年にわたり実施してきた事務事業の見直しや経常経費の削減、定員適正化計画を始めとする行財政

改革の積み重ねで出た財源を充てている。平成32年度にかけ交付税が徐々に減額されていく中、財政運営は年々厳しくなっていくが、更なる行財政改革の継続で財源確保に努めた

地方創生について

問 今、できることは地産地消で、地域内でお金を回すこと。もう一つは交流人口、特に宿泊客を増やし、お金を落としてもらうこと。これが地域の雇用を生み出し、若者を増やす地方創生の道と思う。その意味で、今回のプレミアム付商品券は地元産品を買うときとか、市内で

の食事とか、地域内でお金が回るような制度設計を期待したい。

矢谷副市長 お金が

地域の中で使われていく、市内でお金を回すことが非常に大事と考えている。その意味で「食の拠点」は地産地消、地域の経済を回す一つの核になっていくと考える。プレミアム付商品券はどういう使い方が市民に喜ばれ、かつ、地域の経済発展に寄与するかで制度を設計していきたい。



問 分庁舎廃止のメリットとデメリットを検証すべき。

市長公室長 総合計

画の中で検証していきたい。

問 産業文化センターの有効活用で互産業の振興を。

産業振興部長 今の

ところ考えていない。

問 資源管理型漁業の展開。

産業振興部長 資源

管理型漁業の状況は理解しており、南あわじ市においても今後課題と考える。

会派代表質問

誠道・無所属クラブ 阿部 計一 議員

税の収納率、滞納状況について

問 ご承知の様に納税は国民の三大義務の最も大切な一つであるが、市の平成25年度決算の滞納状況は。

市民生活部長 不納

欠損、未収額を含め12億7千万円ぐらいの推移で横ばいの現状である。

問 今、部長は滞納金額に対して、何か軽やかな答弁であったが、私や一般市民の皆さん方にとって

は途方もない滞納金額であり、今後も益々収納率が厳しい

状況が予想され、税の公平公正からしても市としての対策は。

市民生活部長 まず

財政から申すと市税の安定確保は必要不可欠と考えている。従って誠意のない滞納者に対しては財産調査を行い、預金、給料、不動産などの差し押さえや交付要求の滞納処分を行うなど法に基づき厳正かつ公平な滞納整理を進めていく。

社会体育のスポーツ少年団の島外派遣補助について

問 現状では中体連

島外派遣補助との格差が余りにも大きいと思う。市長も南あ

会派代表質問

日本共産党南あわじ市議団 蛭子 智彦 議員

市民の視線第一に!!

問 有害鳥獣対策を公共事業として行うべき。

農業振興部長 今後

狩猟に力を入れ、防護柵については地域要望にもとづく実施で対応する。

問 松林の再生、復活の対策は。

農業振興部長 事業

実施地域を限定し集中的に取り組む。植樹にも力を入れた

問 福良湾港の防波堤は漁業者の理解を得ること。

都市整備部長 当然

地元との協議が行われると理解している。

問 保育料を無料にするのに、出産祝金や入学祝金をなくす

のは矛盾だ。再検討を。また、職員、施設で不足がないようにするべき。

健康福祉部長 祝金

は辛抱いただきたい。人員は定員適正化計画に基づき対応している。

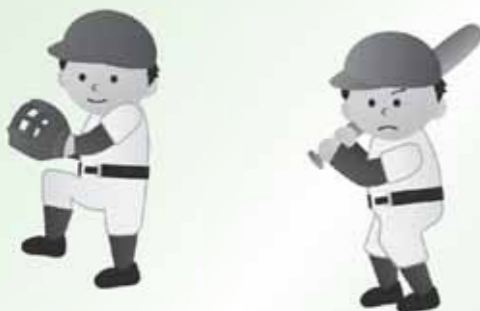
問 幼稚園の統合問題について、方針を早急に出すべき。

教育部長 交流3園

の統合を視野に入れて検討していく。問 サッカー場の建設をどう進めるのか。教育部長 適切な場所の選定の調査から始める。



問 現状では中体連島外派遣補助との格差が余りにも大きいと思う。市長も南あ



▲慶野松原での松の植樹



問 全国に先駆け打ち出した思い切った施策、大きな財源を必要とするが。

健康福祉部長 少子

対策の効果は簡単に現れない、急がないといけない。選択と集中、他の施策を縮小、廃止しても取り組む、南あわじ市の未来に対する投資であるとの決断であった。

財務部長 これまで

長年にわたり実施してきた事務事業の見直しや経常経費の削減、定員適正化計画を始めとする行財政



▲食の拠点「美菜恋来屋」

政真クラブ 川上 命 議員

幼児教育の充実を

市長は今回の保育園、幼稚園の無料化を決断されたが、本当に素晴らしいことである。このことについてお尋ねする。

教育部長 市立の幼稚園は、当然無料である。私立の幼稚園は、一部負担をして頂くことに、ご理解をお願いしたい。

園児が増えると思うが、受け入れ態勢ができてきているのか。

健康福祉部長 保育所の在り方検討委員会の提言の中に、施設整備、保育サービスの向上などが提言されている。現在、保育所の再編整備の計画を策定中である。



幼児教育は、多くの問題点もあるが、将来的にどのようなにするのか。教育部長 教育施設再編計画では統合、0歳児から3歳児未満児の受け入れ、夏季保育の要望、このようなことを念頭において、計画を立てていく必要があるという認識は持っている。



▲伊加利幼稚園

標であるが、やはりこの際ステップとして2園でやっていくと阿那賀、丸山、伊加利が一つの認定子ども園として平成28年4月1日開園を目標にして、教育委員会としてそれを目指して頑張つて努力していきたい。

過疎の進んでいる辰美校区については大変面白いご回答をいただき、ありがとうございます。今後、津井幼稚園をはじめ旧西淡町の幼児教育について、充実を宜しくお願ひします。

市民連合・無所属クラブ 木場 徹 議員

水産振興課を廃止し、係で漁業振興対策ができるのか

海環境の悪化、漁業の諸問題が山積している現状で、水産振興課を廃止して係で水産業の持続的発展や漁業収入の安定化を図られるのか。



▲わかめの刈り取り

川野副市長 新年度スタートして支障が出てくるとすれば、その時点で水産振興課を検討させて頂きたい。

幼、保育園の無料化実施と少子対策について、全員が無料所得制限が無い

健康福祉部長 健康に対する意識を持つてもらい早期発見、早期治療に結びつけ、結果、医療費の抑制につながればとの思い。



健康福祉部長 保育所は全員の方を無料にするほうが効果が大い。幼稚園は全部が無料ではない。2歳以下はなぜ無料にしないのか。健康福祉部長 施設、保育士がすぐに対応できない。健康福祉部長 学童保育未実施の校区はどうするのか。

津井の産業文化センターについて 瓦組合と展示棟、実習棟については指定管理をし、管理棟については公民館で費用を持つことで合意があったのか。産業振興部長 そう話している。市民交流センターの準備状況は。市長公室付部長 看板は4月1日に上げる予定、災害などの公用車については今後話を続けてゆく。鳥獣被害対策の現状と捕獲効果の上がる方策は。農業振興部長 猟友会からの要望もあり、班長会で協議し捕獲を進めていく。

ゆるるはクラブ 原口 育大 議員

弱者対策の充実について

倒産解雇による市民税減免規則の検討状況は。

市民生活部長 本市では、離職コード11と12による解雇を対象にしているが、淡路市・洲本市は離職理由を問わないので差が出ている。同一会社の倒産なのに、住所地で減免が異なるのは好ましくなく、3市で対応したい。

高齢者の運転免許返納実績と優遇策は。

市民生活部長 累計



旧西淡町幼稚園7園をどうするのか。その中で辰美校区の4園統合の問題について。教育部長 4園統合というのは一番目で272人、優遇策はコミバス1年間フリーパス、温浴施設の入浴料半額など。辺地でバス停まで出るのが困難な高齢者に、自宅からバス停までの送迎を検討できないか。市長公室付部長 地域住民が事業主体の運行は淡路市でも行っている、課題はあるが運送上は可能である。灘市民交流センターで死亡届が受理できなくなる点を心配する声もあるが、利用状況は。市民生活部長 年間に5件程度。費用対効果を考えれば、必要な人には市役所から出向いて手続きをするサービスにしてはどうか。手話言語条例制定の準備は。健康福祉部長 委員会協議会を立ち上げ検討していく。市民交流センターへの消防分団の配置は。総務部長 専任分団長が、市民交流センターで所管の各分団を掌握する形をとりたい。その他、保育料無料化について、地方創生について質問した。



▲地域の拠点・市民交流センター 市内21か所に開設

市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

社会福祉、地域福祉について

町ぐるみ健診の目的は。

健康福祉部長 健康に対する意識を持つてもらい早期発見、早期治療に結びつけ、結果、医療費の抑制につながればとの思い。

対象者数、受診者数は。健康福祉部長 26年度は約1万1800人、受診者数4641人。

再検査の必要ありの件数は。健康福祉部長 特定健診だけでは220

市市市民交流センター



南淡地区は南淡福祉保健センターで行われているが休日診療所が入るとの事。今行われている事業をどこで行うかと危惧されている。健康福祉部長 十分状況を聞き、進めていく。社会福祉協議会を市はどのように位置付けているか。健康福祉部長 地域福祉の増進を図る団体。市の決算書の指標によると社会福祉協議会に財政支援をし、福祉行政の協力体制を強化するとある。きめ細かい福祉行政を進めるため、



▲町ぐるみ健診

日本共産党南あわじ市議員 吉田 良子 議員

介護保険料の引き下げを

介護保険料の基準額が、4980円から5050円と1.41%引き上げられるが、所得が低い人は、8.65%、中間層は8.17%と負担を強いる提案なのか。



▲いきいき100歳体操

健康福祉部長 国の基準もあり、一定の負担はしていたらどうか。

健康福祉部長 調査をしており、取り決めにしていきたい。

要支援1、2のホームヘルプサービス、デイサービスを介護給付から切り離し29年からの地域支援事業に移す計画だが、具体的な計画

健康福祉部長 定期巡回随時対応型訪問介護の取り組みについてはどうか。

健康福祉部長 在宅で24時間介護できるように計画したい。

介護職員が不足している。市としての受け止めはどうか。

健康福祉部長 介護

を進めていく上で重要なことであると思

地元企業への支援策を求める

住宅をリフォームした場合、市が経費の一部を助成する制度で住宅改修が容易になり中小零細企業の振興になる。地元で仕事と資金が循環する仕組みが必要だがどうか。

都市整備部長 耐震改修に力を入れていく。

子育て支援を

保護者へのアンケートでの要望の多い土曜日の保育サービスについてはどうか。

健康福祉部長 調査を行い、進められるものは進めたい。

ゆづるはクラブ 小島 一 議員

教育施設再編基本計画について

教育委員会は、再編計画の趣旨をきちんと説明して、積極的にかつ精力的に取り組まなければならないのではないのか。

教育部長 地域の声、あるいは保護者の思いというところがうまく教育委員会の思いが伝わっていない

今後議論する中で、理解を得るような取り組みを図っていきたい。

オニオンロードについて

平成28年の事業年度内にかたが付け

られるのか。

農業振興部長 平成28年に再評価を受ける。それまでに何とか用地を確保したい。

南あわじ市分が開通した場合、中筋の縦道線に出て久次米交差点から国道に接続する交通量が増えるが、交差点の改良についての考えは。

都市整備部長 現状を見たなかで、部分改良を考えた。除川の川部分を少しまっすぐにして道路を拡幅するようなども含めて検討していきたい。

入札について

入札辞退者が多いのは。

財務部長 発注時期



▲オニオンロード

一括下請けなどの監視、確認をどのように行っているか。

財務部長 品質管理に関しては、現場に出向いて適切な指示、指導を行っている。また、施工体制台帳の提出が義務付けられている。

ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員

教育委員会制度の見直しについて

この度、教育委員会制度が見直された。

そもそも教育委員会とは何なのか。

戦後、アメリカから導入された民主的な制度。市町村に置かれ、諸々の教育施策を展開していく。合議制の執行機関である。

教育委員会はなにより、教育長を首長が直接任命する。政治的中立制を旨とする教育。首長と教育長に「上下関係」が生じないか。



『大綱』は市としての教育の基本的な総合的計画だが、現在5年に1度の「南あわじ市教育基本計画」を策定中。「総合会議」



ではその辺が議論されると思う。

今回の制度見直しについて副市長の見解は。

中田市長も教育に非常に関心をもってきている。まちづくりは人づくりだと言っている。総合会議の主催、教育振興にかか

る大綱の策定は市長の所管事務になってくるが、教育委員会に事務委任する考えを持っている。

南あわじ市公明党 熊田 司 議員

プレミアム付商品券に工夫を！

ふるさとの名物商品とプレミアム付商品券を組み合わせている地域もあるが。

産業振興部長 当市では、プレミアム付商品券を地域の消費喚起生活支援事業に充てている。一方兵庫県で実施予定のお買物券などを利用した、観光特産物の振興策がある。それを

利用したら市外からの消費喚起につながる。ことと期待している。



▲プレミアム付商品券で、地元産品を購入してもらえ工夫を

るが、1日に2人程度と聞いている。いろんなことを踏まえ、十分検討したうえでのことになると思う。

子ども達の学力向上を目指せ

「がんばりタイム」とはどんな取り組みなのか。

小学校の放課後に基礎学力を向上させる目的で、週に1、2回算数と国語を中心に行う。

保護者から開設の要望があれば開設するのか。

教育部長 保護者から学校へ要望していただき、学校から教育委員会に言っただけならば、全てとはいかないが準備を進めていく。

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

地域福祉の充実について



問 日本は諸外国に例のないスピードで高齢化が進行し、団塊世代が75歳になる2025年に医療・介護需要増、認知症患者700万人、対策は。

問 各地域の老人福祉は。健康福祉部長 高齢者の方々が集まり、話す機会が増えればよい。

問 障がい者の範囲を見直し、相談支援の充実は。健康福祉部長 不充分なところもあるかも、力を入れてやっている。



ゆるるはクラブ 登里 伸一 議員

医療・介護保険制度改正の概要について



問 今国会で審議中だが、制度改正の内容と市並びに市民への影響は。健康福祉部長 団塊の世代の高齢化により、持続可能な医療・介護保険制度を構築するための改正で、国保の安定化と財政基盤の強化、運営主体が県へ移行。

問 津井地区住民にとつて、待ち焦がれていた施設が実現に向かっていている。これによって津井も変わってゆくだろう。低迷の瓦産業に代わって、働く場もできるのではないかと。アクセス道路改良も進む。若者が増え、地域が活性化することに間違いはない等々、大きな期待を



▲特別養護老人ホーム「どんぐりの里」(松帆)

寄せられている。推進計画・雇用状況はどんなものか。健康福祉部長 第6期介護計画で、広域型の特養50床を27年(29年度中に建設、その後デイサービスセンターなど、複数の施設を建設し福祉の里づくりを進める。同規模施設では、施設長以下26人(30人の常勤体制。その後の附属施設建設で、もっと多くの人数になる。

一部事務組合などの議会報告

平成27年1月～3月

淡路広域行政事務組合

第1回定例会 (2月19日) 総額1億7594万4千円の27年度一般会計予算や淡路食肉センター事業特別会計予算などを可決。

第2回臨時議会 (3月26日)

副議長に洲本市の柳川真一議員を選出、農業共済損害評価委員や土井一史氏の監査委員選任に同意。

淡路広域消防事務組合

第1回定例会 (2月19日) 庁舎建設事業費3億1846万9千円を含む、歳入歳出それぞれ20億7920万円の27年度予算を可決。

第2回臨時議会 (3月26日)

専決処分承認。

淡路水道企業団

第1回定例会 (2月19日) 27年度水道事業会計予算を可決。

第2回臨時議会 (3月26日)

議長に洲本市の笹田守議員・監査委員に洲本市の地村耕一良議員を選出。※広域行政3団体とも、人事院が勧告した「給与制度の総合的な見直し」に準拠した条例改正と地域手当不支給期間の延長、定年前早期退職者に対する特別措置の拡充に関する条例制定を可決。

南あわじ市・洲本市

第1回定例会 (2月18日) 小中学校組合

- ①事務局職員人件費負担、中学校大規模改造工事設計業務委託料など518万円減額する26年度一般会計の補正予算
②歳入歳出それぞれ2億1914万6千円の27年度一般会計予算
③小中学校組合管理者等の給与及び旅費に関する条例の廃止
④特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
⑤淡路教育事務協議会規約の変更
⑥監査委員の選任

洲本市・南あわじ市 衛生事務組合

第1回定例会 (2月6日) 3億6654万1千円の27年度予算などを審議、洲本市と南あわじ市で運営する経費を按分し、その中で焼却炉内補修工事などの工事費を可決した。

26年度分 実績報告

情報公開

議長交際費

議長交際費とは、議長が議会を代表して出席する対外的行事に対して支出している経費です。26年度支出内容は下表のとおりです。(26年度予算計上額70万円)

Table with 4 columns: Item, Quantity, Amount, Total. Rows include祝金, 見舞金, 慰労金, 香花, 賛助, 会費, その他, 合計.

政務活動費

政務活動費は、議会の活性化と政策立案能力の充実強化を図るため、議員の調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、議員1人あたり年間15万円(月額12,500円×12ヵ月)として、会派に交付しています。交付申請のない会派には交付していません。

26年度の実績報告として各会派から提出があった実績報告書は、閲覧用として整え、5月11日(月)から議会事務局に設置します。どなたでもご自由に閲覧できます。

また、概略版を市ホームページ(5月11日から)と議会だより(7月31日発行分)で掲載します。

問 議会事務局Tel 43-5005

ケーブルテレビ 加入者数は？

総務建設常任委員会

1月21日の委員会

西淡庁舎前の県道拡幅工事

西淡庁舎前で県道拡幅工事をしてい

が、自転車などの通学用の歩道の計画は。

福良湾の防波堤

福良湾の防波堤はどのような計画か。

27年度から調査設計を行う。防波堤の高さは5.5m、全長1.1kmで計画。事業費は約60億円。

沼島汽船

沼島汽船は生活航路であり、もう少し風波に強い船を造れない

のか。

国の補助採択要件など、今一度、確認し研究してみたい。

若人の広場

若人の広場の管理運営について。

午前9時から午後5時まで開園。語り部的な臨時職員2名の交代制で年中無休。経常経費として年間約1000万円を予定。

耐震対策

耐震対策で補助の見直しも必要では。

個人住宅に木質シエルターを設置する場合だと国、県、市で3分の2ぐらいは補助ができるのではないかと。防災ベッドなどは、寝たきりの方や低所得者

新庁舎周辺の交通安全対策は？ 産業厚生常任委員会

2月3日に臨時会の付託案件審査が終了後、所管事務調査を行った。

婦人会の廃止と女性部の創設

各自治会に女性部を設置と聞くが。

組織の活動者が少なくなった婦人会に代わり、各自治会に地域で女性が参画できるよう、女性部の組織づくりを働きかけている。

「地域活性化のために女性の力を」というのなら、担当はもっと積極的にやるべきではないか。また補助金も使いやすくする工夫をしてはどうか。

予算は連合婦人会と同額を考えているので、もう一度協議をしていきたい。

に可能な限り配布できないか検討している。

2月20日の委員会

友好市町

友好市町との交流は。

市政10周年記念事業には、市長・議長を招待する。

ケーブルテレビ

ケーブルテレビ加入者数と今後の対策は。

加入者数は平成

27年1月末現在で1万6591件。ニュース番組は27年10月から、月々金の週5回更新をしていきたい。

フェニックス共済

フェニックス共済の加入率は。

27年の1月31日現在26.1%、県平均は9.2%。

委員会調査 レポート

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。1月～2月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載していますので、ご利用ください。

そこが知りたい



▲新庁舎周辺で交通量が増加 (南あわじ警察署前の交差点)

鳥獣対策について
社会福祉協議会の活動拠点問題について
子育て支援と保育所の定員問題について

老人会組織と活性化について



▲淡路島地震により防災意識が高まったことなどから加入率が上昇しているフェニックス共済

広聴活動について 先進地を調査

議会広報広聴常任委員会

2月8・9日に「議会報告会のあり方」・「広聴活動の取り組み」や「広報誌の充実」について大分県佐伯市と大分市へ管外調査を行った。

佐伯市議会

議会報告会を年1回13～15会場で行い、地域の要望を吸い上げようと努めている。報告会に出た意見は、議会の取り組み状況と合わせ、翌年の報告会で説明している。また、重要と思われる意見は、政策研究会で取り上げ、議会として条例作成に取り組んでいる。議会モニター制度を実施。議会運営委員会も傍聴でき、議会運営や議会改革に対する意見をモニターから聴くこととしている。

大分市議会

議会報告会を「市民意見交換会」と題して、市民の声を聴くことに主眼を置いて開催している。また、議員自らの意見交換会の街頭宣伝を行い、市民の参加を呼びかけている。更に、高校・専門学校・大学へ出向き、若者たちとの意見交換を行っている。



▲議会報告会について学ぶ (大分市議会)

お気軽にお越しください。 **新庁舎4階のご紹介**



議場ロビー 展望ロビー

本会議など開催中は、モニターテレビで議場の様子を見ることができます。また、展望ロビーからは、三原平野を一望できます。



図書コーナー

本会議や委員会の会議録、議会に関する雑誌や資料を保管しています。貸出はできませんが、一般の方も自由に閲覧できます。

定例会

第62回南あわじ市議会定例会日程（6月）

◆開会はすべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	6月12日(金)	1. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 2. 平成27年度補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 3. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	6月18日(木)	1. 一般質問
第3日	6月19日(金)	1. 一般質問
第4日	6月22日(月)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日	6月23日(火)	
第5日	6月29日(月)	1. 追加議案上程（説明、質疑、討議、表決） 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）

	会議日	会議内容
委員会	6月24日(水)	総務常任委員会
	6月25日(木)	産業厚生常任委員会

インターネット中継もおこなっています。



▲傍聴席から見た新しい議場

編集後記

4月から新庁舎での業務、各地区公民館での市民交流センターの開設、そしてらんバスのコースなどが大きく変化しました。

議場も新庁舎の4階に移動し、入口は瓦を使用したデザインになりました。車椅子での移動も可能になり、1階市民課、福祉課においても整備されていますが、耳の不自由な方に新たな機器を整備しました。新しい議場での議員活動をぜひ直接見ていただくためにも、多くの市民の皆さんの議会の傍聴をお願いします。

(吉田)

専用受信機 貸出中



ヒアリングループ補聴システム
(磁気ループ)

議場傍聴席では、**補聴器・人工内耳**を装着されている方に音声ははっきり聞こえる装置を設置しています。

補聴器をお使いの方へ

※くわしくは、議会事務局までお問い合わせ下さい。